

(学校番号013)

令和6年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【上木崎小】

①	今年度の課題と授業改善策		
	学習上・指導上の課題		授業改善策【評価方法】
知識・技能	<学習上の課題>基礎的・基本的な知識・技能の習得状況が二極化している。 <指導上の課題>習得した知識・技能を活用する学習活動を学級全体で設定しにくい。	⇒	朝学習中の「朝学習」の時間において基礎的・基本的な学習内容の反復・習熟に取り組む。(月1回程度実施) 「主体的・協働的に学びを深める上木っ子の育成～話し合い活動の充実による思考力の向上～」の学校での研修において授業中の話し合い活動を効果的に取り入れ、児童が協働的に学び課題を解決する時間を設定する。(週1回程度)
思考・判断・表現	<学習上の課題>算数において、図や表から式を立てたり、関係を説明したりすることに課題が見られた。 <指導上の課題>児童が自己表現する過程を教師が十分に評価できていない。	⇒	「主体的・協働的に学びを深める上木っ子の育成～話し合い活動の充実による思考力の向上～」の学校での研修において授業中の話し合い活動を効果的に取り入れ、児童が協働的に学び課題を解決する時間を設定する。(週1回程度) 教員による評価について研修し、評価方法などを学ぶ。(年間を通して)

②	全国学力・学習状況調査結果について(分析・考察)
知識・技能	国語、算数ともに全体的には、知識・技能の定着が図れている。また、無回答率も低く、最後まで問題に取り組もうとする姿勢が見られた。 国語では漢字の問題に課題が見られた。 算数では問題文や図形から数値を読み取りながら解く問題に課題が見られた。
思考・判断・表現	国語では、資料を読み取りながら、事実と自分の考えを分け表現することに課題が見られた。 算数では、図をもとに、自分の考えを説明する問題に課題が見られた。解答類型を見ると、答えを理解はしているが、答えに至るまでの説明が足りない児童が多かった。図や数、考えを説明する活動を重視したい。

③	中間期報告		中間期見直し
	評価(※)	授業改善策の達成状況	授業改善策【評価方法】
知識・技能	B	朝学習中の「朝学習」の時間を月に1回以上設定することができている。 授業では、児童の話し合いの時間を設定することができている。今後より効果的な話し合いができるように校内での研修を行っていく。	変更なし
思考・判断・表現	B	授業では、児童の話し合いの時間を設定することができている。今後より効果的な話し合いができるように校内での研修を行っていく。	変更なし

④	さいたま市学習状況調査結果について(分析・考察)
知識・技能	どの教科でも、全体的には知識・技能の定着が図れている。 国語の主語・述語の関係を捉える問題に課題がみられた。 算数では、立式や計算の意味の理解について課題が見られた。
思考・判断・表現	どの教科でも、全体的には考え、表現する力がついている。 国語では、書き手や話し手の意図を捉え、助言することに課題が見られた。 算数では、複数の情報から必要な情報を選び取り、立式していくことに課題が見られた。

⑤	評価(※)	授業改善策の達成状況
知識・技能	A	月に1回以上、「朝学習」の時間において基礎的・基本的な学習内容の反復・習熟に取り組むことができた。 週に1回以上どの学級においても話し合い活動を取り入れながら授業を授業を行うことができた。
思考・判断・表現	B	研究授業などの研修を通して、効果的な話し合い活動の仕方を教員同士で学び合い、授業に生かすことができた。

⑥	次年度への課題と授業改善策
知識・技能	全体的には、基礎的・基本的な知識・技能の定着が図れた。しかし、個人差が大きいことから個別に必要な支援を講じていく必要がある。
思考・判断・表現	来年度も継続して学んだことを使いながら、考えを主体的に表現する授業を展開していく。

※評価

A 8割以上(達成) B 6割以上(概ね達成) C 6割未満(あと一歩)